

日 時：2012年3月29日（木） 18:00～20:00

場 所：大妻女子大学 図書館資料室

出席者：植竹照雄、榎原 毅、岡田 明、片岡洵子、小木和孝、酒井一博、申 紅仙、鈴木一弥、竹内由利子、城 憲秀、橋本修左、平野和彦、堀野定雄、真家和生、松田文子、松村秋芳、水野基樹、水野有希、川田裕次郎（財政再建WG、次世代幹事）

会員動向（下記を含め225名）

<退会> 熊野 建、進藤正雄、土井俊央

<入会> 中山 孝（東京工科大学）、日栄麻衣子（中京大学、学生、2012年4月入会予定）

## 議事次第

### ●審議事項

#### 1. 財務再建に関する2012年度予算見直しと新提案

- ・竹内理事から、本年度の財務状況、過去の財政推移などから問題点を報告し、財政健全化のために具体的な提案があった。収入については、会費滞納に関する会則の改訂案、全国大会に発表規定を設定、会費に関する会則の改定、未納者の対応や退会処理などを提案。支出については、JHE や会報など印刷物の予算減、JHE の印刷業者の選定、全国大会補助金を20万円に削減などを提案。
- ・榎原理事から、プライマリーバランスの問題を解決するためのアクションプランの提案があった。①「JHEの電子化」（ランニングコストの削減、会員の早期閲覧、査読時間の短縮、閲覧の自動集計が見込まれる）、②「納入率向上・入会率向上を狙った新会費制度の導入」（電子ジャーナル会員と受益者負担の冊子会員、早期割引の適用などの方策）、③「収益事業の実施」（統計ソフトRを用いた統計解析の講習会、基礎編と応用編で各年2回の実施など）。

#### <決定事項>

- ・会則第4条「会費を1年以上滞納したものは退会したものとみなす」を「会費を1年以上滞納したものは定期行物の配布を停止する。2年を超えて滞納したものは退会とする」に変更する。
- ・全国大会の発表規定として、「発表者または連名者には必ず1名以上が会員であり、当年度会費が納入済で、過年度会費の未納がないこととする。」を細則に設ける。
- ・滞納分の回収見込み額を予算収入とはしない。予算の会費収入は会員数×年会費の8掛けで計算する。
- ・5年以上の滞納者には納入を呼びかけ、今年度1年間の猶予期間を設けて未納の場合は退会扱いにする。

他の提案および以下の審議事項に関しては、次回の理事会まで継続審議とした。

#### 2. 次世代事業について

#### 3. 第47回大会

#### 4. その他

- ・理事選挙結果
- ・筑波図書館の寄贈について

### ●報告

2012年3月28日の朝日新聞夕刊の「人・脈・記 安全第一（8）「働き やすく」貫いた信念」に小木和孝理事が紹介された。

次回理事会はメールにて後日連絡（6月の全国大会前に開催予定）

以上